

↓25(水)最後の夜となりました。今日は特別にステーキを焼いてくださいました。一人では寂しいという

2011年5月27日発行

教会通信

広島平和キリスト

2011年度19号



ことで、毎日、家族のようにしていただき、ありがとうございました。高橋敏子さんからの煮豆などもいただきました。



↑足利英紀さんともお別れ。EMのえんどう豆を食べさせていたことで、収穫中。EM散布気仙沼浄化大作戦が祝されますように祈ります。

手馴れたもので、いろいろ教えてくれます。歴戦の強者といったところ。作業もで、体が痛いです。慣れない仕事。夫さん、みなさん、車で寝泊りされておた。慣れない仕事。は広島三つからいらつやつた応谷文。業は進み、依頼者寺、八王子、関西からなど、一番右の方。業は進み、依頼者。間。みなさん、超ベテランの方々。国分。業は進み、依頼者。か。最初は思いま。下。写真の通り、床下に泥出し。張りをチェーンソーで切り、何とか入れるようになり。手ではがした方が早く。こんな広くて終わるの。か。最初は思いま。下。写真の通り、床下に泥出し。張りをチェーンソーで切り、何とか入れるようになり。手ではがした方が早く。こんな広くて終わるの。



↑京都西本願寺の皆様、救援物資を運んできて、下さいました。



最終日となりました。今日は、気仙沼市災害ボランティアセンターへ行き、泥だし体験をしました。8時半ごろ到着し、受け付けをし、ボランティアが互いの背中に「わたしは掃除ができます」とかいた名前入りゼッケンのようなものを張り合います。右の写真の方々が一緒に泥出しをさせていただいたお仲間。みなさん、超ベテランの方々。国分寺、八王子、関西からなど、一番右の方は広島三つからいらつやつた応谷文の。業は進み、依頼者。間。みなさん、超ベテランの方々。国分寺、八王子、関西からなど、一番右の方は広島三つからいらつやつた応谷文の。業は進み、依頼者。か。最初は思いま。下。写真の通り、床下に泥出し。張りをチェーンソーで切り、何とか入れるようになり。手ではがした方が早く。こんな広くて終わるの。



↑ボランティアで泥出しをさせていただいたお宅。2mは超える水が入りました。2階で生活されておられます。←幼稚園の先生方ともお別れです。先生方も被災者。頑張っておられます。さようなら。



↑25日。気仙沼災害ボランティアセンター。真ん中の方が今日の班長さんでした。いろいろ丁寧にご指導をいただきました。最後に、「不慣れなリーダーでしたが、ご協力ありがとうございました。また、機会がありましたら一緒にやりましょう」との挨拶で、一同記念写真を撮り、解散しました。



↑ボランティアセンター受け付けです。右が初めての人、左が2回目以降の人。8時半には行きましょう。↓谷本先生、藤岡先生、ローバーツ先生。ローバーツ先生にまた会えるかな？

